

伝達されたと考えられる。ただし、現段階では、本木簡の具体的動きは本遺跡の性格とともに未解明な部分が多い。

なお、木簡の釈読にあたっては、国立歴史民俗博物館の井原今朝男氏・高橋一樹氏、石川県立図書館史料編さん室の瀬戸薫氏・木越祐馨氏からご教示を得た。

(1-7 庄田知充、8 平川 南〈国立歴史民俗博物館〉)

文化財写真に携わる人の必携マニュアル

『埋文写真研究』一四号

埋蔵文化財写真技術研究会編

巻頭言

シンポジウム記録 「今なぜ銀塩か？」

編集委員会

白黒多階調印画紙での再現

井本 昭

デジタルデータからのネガ出力

玉内公一

DTPのための図面原稿

宮内康弘

新品ストロボの発色

中村 一郎

他

在庫状況のお知らせ

頒価 一〇四号 品切れ 五〇八号 三五〇〇円

九号 三〇〇〇円 一〇一四号 三五〇〇円

送料 一冊〇四冊まで 五〇〇円

五冊一〇冊まで 一〇〇〇円 一一冊以上 無料

ご注文は、当研究会まで直接お申し込みください。

ご送金は、郵便振替でお願い致します。

宛先 〒六三〇―八五七七 奈良市二条町二丁目九番一号

奈良文化財研究所気付 埋蔵文化財写真技術研究会

電話 〇七四二―三〇―六八三八

郵便振替 口座番号 〇一〇五〇―九―九九三〇

埋蔵文化財写真技術研究会宛